

文部科学省 戦略的大学連携支援事業
「教員養成コンソーシアム四国」通信

Consortium

宗吉瓦釜窯跡史跡を見学しました

高松大学
教員養成コンソーシアム四国サテライト事務局

2号館 2219 研究室 (内線 5411)
E-mail: conso1@takamatsu-u.ac.jp (高橋)
conso2@takamatsu-u.ac.jp (浜田)

去る 3 月 6 日 (日) 三豊市の宗吉瓦窯跡史跡公園研修会を実施しました。

香川県埋蔵文化財センター専門職員であった、蓮本和博先生 (高松市立三湊小学校)、香川県教育委員会主任指導主事を務めた、上井嘉教頭先生 (高松市立鶴尾小学校) を講師に招き、古代ロマンの一端に触れることができました。

今から 1300 年余り前に、藤原京 (現 奈良県^{かしはら}橿原市) に建てられた日本初の瓦ぶき宮殿。この宮殿に瓦を供給したのが讃岐国三野郡にあった瓦専門の窯「宗吉瓦窯」です。数や大きさでは日本最大級であり、地元では弘法大師が築いたとの言い伝えが残る最古の瓦の窯跡です。藤原京の宮殿、藤原京には 200 万枚という瓦が必要とされ、大和を中心に近畿・淡路・讃岐などから調達されたようです。宗吉瓦窯は、都から一番遠い所でしたが、その高い技術が認められ瓦を収めることになったようです。渡部明夫館長さんからも熱のこもった説明があり学生たちも熱心にメモを取ったり、質問したりして地域指導者との交流も深められました。



(地下式穴窯) 瓦づくり現場の様子



香川県埋蔵文化財センター主任文化財専門員さんの説明の様子

通信は今後、会議の報告、連絡事項などを中心に、不定期に発行します。ご意見・ご要望等ありましたらお寄せください。また、「教員養成コンソーシアム四国」については大学ホームページからもご欄できます。

<http://www.bunri-u.ac.jp/consortium/>